

# PSC

## 主な活動2013年1月～2月

1/8(火)	定例スタッフミーティング
1/9(水)	愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」第1作業部会
1/10(木)	九州より取材
1/11(金)	市民活動団体育成・強化プロジェクトインター研修受け入れ（～19日）
1/12(土)	新しい公共フォーラム・あいち（全体会パネリスト・分科会企画・運営）
1/16(水)	神奈川県「NPO×企業 協働コーディネーター養成講座」
1/17(木)	真誠CSR委員会⑨ 「『居場所づくり』について考えよう」講座③③、なごや環境大学
1/18(金)	おうみ未来塾12期生「リーダーシップと合意形成講座」
1/21(月)	ボッカサッポロ訪問
1/23(水)	第4回地域防災研究会議（小牧市）②
1/24(木)	シニアボランティア会議⑩
1/26(土)	PSC理事会⑤（拡大理事会）①、尾張旭市民活動促進助成事業中間報告会兼交流会
1/29(火)	名古屋市協働会議（行政とNPOの協働）、日本ガイシ株CSR・SHD
1/30(水)	茨城県経営者協会CSRセミナー「成功する“企業とNPOの協働”に学ぶ」
1/31(木)	岐阜県関市社会福祉協議会「福祉まちづくり講座」、カフェ・アイリス運営会議
2/2(土)	あいち子どもNPOセンター理事会&10周年記念パーティー
2/4(月)	名古屋市みどりの協会来所、定例スタッフミーティング
2/5(火)	名古屋市みどりの協会緑化委員会
2/9(土)	おうみ未来塾12期活動目標発表会
2/10(日)	第7回中部エネルギー市民会議
2/13(水)	地球環境基金実務者会議
2/18(月)	パートナーシップ大賞第4回運営委員会、オルタナ来所
2/20(水)	カフェ・アイリス運営会議、社会的責任円卓会議「人を育む基盤整備WG」
2/21(木)	真誠CSR委員会⑩、新しい公共支援事業「ステークホルダー・ダイアログ演習①」（東京都）、シニアボランティア会議⑪
2/22(金)	元気なkasu会来所
2/25(月)	愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」第1作業部会、愛知中小企業家同友会（協議）、「新しい公共フォーラム・あいち」分科会連絡会
2/28(木)	新しい公共支援事業「ステークホルダー・ダイアログ演習②」（東京都）

### 事務局だより

インフルエンザが流行する時期ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

1月12日の新しい公共フォーラム・あいちでは、PSCの分科会に予想をはるかに上回るご参加をいただき、ありがとうございました。ちょうどこの時期は、各地域で年中行事が重なっているということで、会員および関係者の皆様にご案内をした時点では、何人集まつていただけるのか内心ハラハラでしたが…。これも、協働に対する皆様の期待の表れだと思っております。PSCとしても、協働を推進するNPOとして、皆様をつなぐ役割をしっかりとしたいとあらためて思いました。（成瀬）



### PSC代表岸田の“東へ西へ”（2013年1月2月）

例年というか、パートナーシップ・サポートセンター立ち上げ前の1998年の正月から、これまで一度も休むことなく15年間実施してきたPSC新春合宿が、今年は、愛知県主催の「新しい公共フォーラム」（1/12(土) 1面参照）と重なってしまい、フォーラムの企画委員でもあり、全体会のパネリストでもあるわが身としては、残念ながら見送らざるを得なかった。

そのことが、例年合宿で開催していた拡大理事会の時期のずれ1/26(土)につながり、組織運営に若干の影響が生じてしまった。とはいっても、フォーラムに参加するからには…ということで、PSC担当の分科会「NPOと企業・行政・の協働をいかに進めるか」を企画。当日は全国からの参加者を含め64名という予想を超える多くの参加者を得、18ある分科会の中でも有数の分科会となった（1面参照）。パネルディスカッション、ワークショップとも大きな成果・収穫を得ることができたのは何よりもである。

さて、その前日1/11(金)には岩手からインターン生が到着。日本NPOセンターの事業として私がメンターを担当している宮古市の団体のメンバー吉田さん。12日のフォーラム準備から1/19(土)のおうみ未来塾の講座「リーダーシップと合意形成」まで、パートナーシップ・サポートセンター、そして岸田の実にさまざまな場面～1/16(水)神奈川県の「NPO×企業協働コーディネーター養成講座」（2面参照）、柄木と岐阜の「パートナーシップ大賞」入賞（第4回、第5回）事業のヒアリング、1/17(木)企業のCSR委員会等～をともにし、しっかりとその成果を持ち帰ってくれた。



1/23(水)には小牧で第4回地域防災研究会議を開催。大企業4社と市民、行政による、まさにマルチ・ステークホルダー・プロセスによる地域防災のあり方研究であった（3面参照）。

1/30(水)には、茨城県水戸市へ。茨城県経営者協会によるCSRセミナーの講師として「成功する“企業とNPOの協働”に学ぶ」と題して話した。茨城県は、一昨年から地域円卓会議を開催しており（私も第一回を見学）、経済団体とNPO中間支援の関係が友好な県でもある。1/31(木)は岐阜県関市に。関市社会福祉協議会主催の「福祉まちづくり講座」での講師。

2/2(土)は久しぶりにあいち子どもNPOセンターの理事会&10周年の記念パーティーに出席。2/9(土)は滋賀県大津市に。おうみ未来塾12期生の「活動目標発表会」にアドバイザーとして参加。

2/18(月)は東京からオルタナの森編集長が来所。グリーン経営者フォーラムについて協議。夕方にはパートナーシップ大賞第4回運営委員会で、今年の記念すべき第10回をどう展開するかの話題も。

2/20(水)は、早朝から東京へ。経団連会館で「社会的責任円卓会議の旧人を育む基盤整備WG」の会合に出席。「持続可能な社会を担う人を育むための原則」の素案づくりに参加させていただいた。夜には上智大学柳下教授の最終講義に参加。翌2/21(木)には、東京都の新しい公共支援事業で、NPOサポートセンターによるとことんNPOサポートプロジェクトの戦略講座「ステークホルダー・ダイアログ演習」の講師に。2/28(木)の2日目と併せ、新たなNPO向けのステークホルダー講座を開拓することができた。（2013.2.26 岸田真代）



NPO  
PSC  
企業 行政

Vol.88

発行 特定非営利活動法人  
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)  
〒464-0067 名古屋市千種区池下1丁目1番21号  
サンコート池下4F  
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407  
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp

発行人・岸田真代

### 新しい公共フォーラム・あいち～地域でともに支え合う社会の実現を目指して～

#### PSC企画分科会「NPOと企業・行政の協働をいかに進めるか」 白熱した議論が交され、参加者も満足のいく2時間に！

新しい公共に対する理解を深め、地域の諸課題についての意見交換を行う愛知県主催「新しい公共フォーラム・あいち」が、1月12日(土)、愛知大学名古屋校舎で開催されました。PSCは「NPOと企業・行政の協働をいかに進めるか」というテーマの分科会を企画。新しい公共が目指す三者の協働をいかに進めていくのか、今後のしくみづくりを考える場となりました。

午後1時から始まった分科会は、愛知県だけでなく遠く鹿児島や香川、静岡、神奈川などからも参加者が集まり、64名による活発な議論がかわされました。

前半のシンポジウムでは、コーディネーターの岸田代表による進行のもと、パネリストの和田勝氏（愛知中小企業家同友会副代表理事）、伊藤卓氏（太陽電化工業株常務取締役）、岡部扶美子氏（認定NPO法人バンドラの会代表理事）、金田勝氏（愛知県産業労働部労働政策課主幹）の4名が、それぞれのセクターの立場から協働についての考え方（や出来ること）、他のセクターに期待することなどを1時間にわたり話し合いました。地域を意識しながら、各セクターが協働の場をいかに構築していくか、そのためには相互理解から始めていくことなどといった内容に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

後半は来場者をNPO、企業、行政、中間支援（NPO）、中間支援（経済団体）、専門家・個人の各セクターに分けてワークショップを実施。「協働を推進するためには、お互いを理解することからはじめることが大切」など参加者の思いが込められた多くの意見が出されました。短時間でしたが、シンポジウム、ワークショップとも当初の目的を達成し、充実した半日になりました。中間支援NPOや経済団体の役割が明確になり、協働の場づくりの第一歩となりました。（阿部）

#### 全体会では、「多様な主体の協働ノウハウ」を実践的に解説！



▲全体会の壇上で挨拶する岸田代表

午前中の全体会は、当初の予想を大きく上回る600名以上の参加があるなか、新しい公共を担う行政・企業・NPO・学識者それぞれの代表者によるパネルディスカッションが行われました。岸田代表もパネリストとして登壇、前半は《「新しい公共」のイメージについて》、後半は《違う主体と協働するためのノウハウについて》をテーマに、各パネリストがそれぞれの立場から協働について語り、最後はコーディネーター・昇秀樹委員長が「みんなの課題はみんなで解決」と述べられ、各セクターの協働への思いを締めくくりました。岸田代表からは、協働を実践から学ぶことが重要であるとし、パートナーシップ大賞の好事例の成功の秘訣を紹介、成功に繋げるためにはステークホルダーの声をしっかり聞くことが基本であると、15年間に及ぶPSCの活動の経験をもとに語りました。（成瀬）



in 神奈川

## 「NPO×企業 協働コーディネーター養成講座」開催 (神奈川県主催「新しい公共」支援事業にて)

「段階を追った協働支援のあり方が良く分かった。今の自分のレベルと今後どんな学びが必要なのかわかった」～と、9割以上の参加者に「よかったです」と評価していただいたのは、神奈川県主催の「新しい公共」支援事業として実施された、「NPO×企業協働コーディネーター養成講座」です。

1月16日(水)、かながわ県民活動サポートセンターで丸1日にわたって開催されたこの講座は、昨年のフォーラムに続いて「NPOと企業の協働」を進めようという神奈川県の意気込みを感じさせるものになりました。昨年の基調講演に続き、今回も岸田眞代が講師を務め、「NPOと企業の協働を推進させる」コーディネーターを養成しようというもので、PSCの『協働推進5つのステージ』(100問チェック)をもとに行われました(下記参照)。

「短い時間のなかで沢山の貴重な情報やノウハウを教えていただき、コーディネーターとしての今後の活動の展開が具体的にイメージできた」とメールを寄せてくれたのは、この講座を企画運営した、一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ(ソコカナ)の藤枝さん。

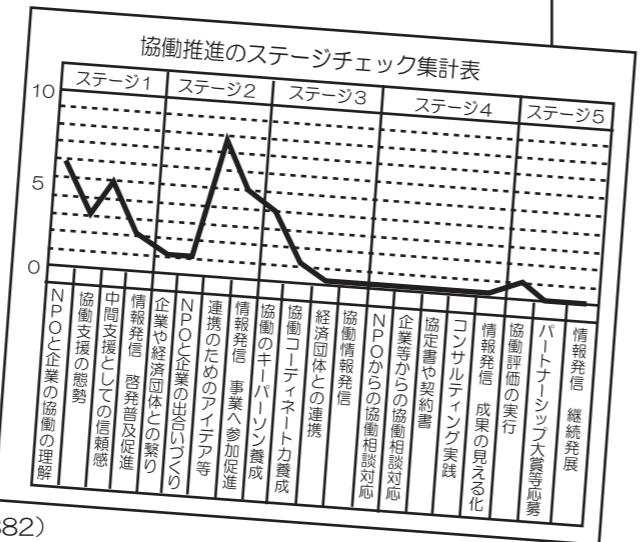
40名の参加者のうち、40代のNPOで働く女性は「CSRのうち、社会貢献以外の部分にもNPOがかかわっていく可能性があることに今さらながら気付きました」との感想を寄せ、20代男性は、「NPO×企業のプログラムが生まれるプロセスの面白いアイデアを思いついた」と応えてくれました。

「NPOの将来の道筋が見えてきたようだ」(60代男性)の声は、この養成講座の可能性を示してくれているようです。(岸田)

(参照: 参加者によるブログ紹介 <http://sugimura06.exblog.jp/19153882>)



▲まず100問チェックを行い、5つのステージにグループ分けし、協働コーディネーターとしてやるべきことを考えました。



## 第8回パートナーシップ大賞受賞事例集 「NPO×企業 協働のススメ」

好評につき増刷しました!!

前号でお知らせした「NPO×企業 協働のススメ」(12月1日発売)。パートナーシップ大賞に入賞した協働事例紹介のほか、第2部は『NPO×企業 協働コーディネーターのススメ』と題し、昨年作成した「協働推進Q&A」の100問チェックをさらに内容を変え掲載。協働コーディネーターとしてのレベルチェックができる、さらに必要なノウハウが学べるため、全国の新しい公共事業のセミナーなどで人気となっています。

NPOの方だけでなく、多様な主体の連携などに携わる行政や企業の方にもぜひご覧いただきたい1冊です。(山崎)

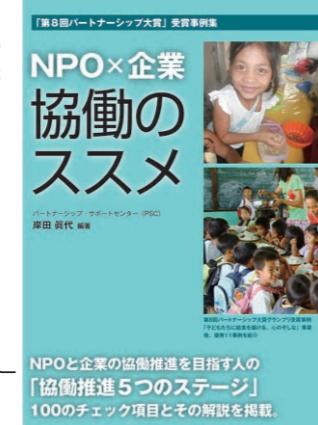
定価1,470円  
(本体価格1,400円)

詳細はPSCのHPをご覧ください。

発売 サンライズ出版 A5判

総140ページ

編著 パートナーシップ・サポートセンター  
岸田眞代



## 第5回PSC理事会

### 中間支援NPOの新しいあり方をめざして

第5回PSC理事会を1月26日(土)10:00より、理事・監事および評議員の方を合わせ13名(オブザーバー含め14名)に出席いただき拡大理事会として開催しました。(会場: ウィルあいち2Fセミナールーム4)

今年度の現状を踏まえ、今後の運営体制や事業展開等について活発に議論されました。自主事業を確立し、中間支援NPOの新たなあり方の追求に向けてのスタートとなるよう、会員の方からも提案をいただきながら検討していく予定です。

2013年度はPSC設立15周年。記念イベントも含め、進展をお知らせできればと思います。

(下平)



## 2 「市民・行政・企業の協働による地域防災」に関する実証研究事業

### 企業・市民・行政それぞれの意見が出揃い、研究成果へ反映

年が改まって最初の「地域防災研究会議」。1月23日(水)に開催された第4回では、前半にこれまでの3回の会議内容を振り返りながら、企業・市民・行政および有識者から出された意見をまとめたものを配布し、本会議の構成員より、研究報告としての内容の確認と補足意見を出し合いました。

後半は、ワークショップ形式で、小牧市の地域防災における自助・共助・公助のあり方について、それぞれの立場から意見を出し、事前準備から発災時・復旧復興に至るまでの時間軸を考えながら表にまとめていました。それまで立場上意見が控えめであった行政の方からも積極的に意見が出て、地域で防災を検討する会議として各セクターの意見が出揃いました。

(成瀬)



▲自助・共助・公助の考え方を整理する岸田代表



▲ワークショップでの意見出しの様子

## 3 PSCセミナー2012 現場で活躍中の講師から学ぼう!

### これから「居場所」はどうなる?

「『居場所づくり』について考えよう!」はいよいよ最終回。第3回(1月18日(金))のテーマは、「新しい生活文化とまちづくり」。前半は、市民主体のまちづくりを進めていくために、国の動向や地域活動をしっかりと把握することや、現存する様々な制度を活かすことの重要性について、講師の松下典子氏(公益財団法人さわやか福祉財団 東海ブロック代表)よりお話をいただきました。

後半は、参加者と講師によるざっくばらんな意見交換。3回のセミナーを通して、参加者それぞれの視点で『居場所づくり』の必要性や今後のあり方をじっくり考えることができたようです。(松橋)



## 会員さん紹介⑧ NPO法人 子ども&まちネット



る拠点として、活用しています。

私たちは、すべての子どもたちが基本的人権を保障され、

「子ども期」をきちんと生きられるよう、子どもたち自身の意見を聴きながら、大人がなすべきことは何かを求め続けていきたいと考えています。



「ワンストップひろば」(親子ひろば)  
毎週月曜・水曜開催

\*開催時間 10時30分～14時

\*利用料 300円／親子1組(初回無料)



### 団体データ

名称 特定非営利活動法人子ども&まちネット  
理事長 伊藤一美  
住所 〒464-0076  
名古屋市千種区豊年町3-18 都通団地1-111  
TEL/FAX 052-768-5914  
HP <http://www.komachi-111.com/index.html>  
ブログ <http://blog.canpan.info/komachi-net/>  
2005年NPO法人格取得